



# この人に



中工精機 株式会社 (瑞浪市日吉町 5177-7)

代表取締役

く どう よ し か つ

工藤好功 氏 (69歳)

インタビュー ● 広報委員長：高垣守宏 ● 広報副委員長：松井啓至 ● 広報委員：河地勝彦

瑞浪市でボールミルという粉碎機を製造している、中工精機株式会社の工藤好功社長にインタビューさせていただきます。

## 御社の概要とご自身のプロフィールを教えてください。

大正14年、私の祖父工藤春三は、地元稲津町で中工精機の前身である「稲津鉄工所」を創業しました。ここ東濃地方は古くから窯業が盛んで日本有数の陶磁器の産地です。明治初期には屏風山で釉薬の原料となる釜戸長石も発見され、ふもとの佐々良木川に長石を粉碎するためのトロミル水車を設置したのが始まりです。

その後、稲津鉄工所は窯業機械メーカーとして順調に発展。戦争によって一時中断した際は中島圭三氏(後の瑞浪商工会議所会頭)と航空機の部品を製造していました。

昭和17年、会社を瑞浪市土岐町に移転し、自らを代表とする「中工精機合資会社」を設立。社名

は、中島氏の中と工藤の工が由来となっているんですよ。

創業から約三十年間は、陶磁器やガラスなどオールセラミックスの原料を粉碎する機械が主力でしたが、次の三十年間はスペースシャトルの外壁に使うようなニューセラミックスの原料粉碎に代わり、さらに今は電池材料にもなっている高機能素材の粉碎に力を入れ、海外展開を狙っています。

今年、創業100周年を迎えます。私は父が早くに亡くなり、34歳で社長になりました。今年70歳になりますので4代目を息子に譲ろうと考えているところです。

「不易流行」といいますか、創業者の想いを次に繋げていくことが私のライフワークになっていまして、現在会社の100年史を作成中です。



## ボールミルというのはどんな機械ですか？

ボールミルは粉体製造装置といいまして、セラミックなどの硬質のボールと材料の粉を円筒形の容器にいて、回転させることによって材料をすりつぶし、微細な粉末を作る装置のことです。

このボールミルを使って作られるものは、鉱石類やセメント原料、窯業原料、化学工業原料など広く利用されています。

弊社は国内最大級ボールミルを、設計・製缶・加工・組立まで社内一貫生産しています。

毎年、東京ビッグサイトなどで開催される国際粉体工業展に出展していますが、お客様から「こういうものは粉碎できますか？」というお話をよくいただきます。持ち込まれた材料を粉碎できるかどうか、弊社実験室でデータを取りお客様に提案します。それが新製品のネタにもなります。

近年、国内の名だたる粉碎機メーカーが手を引き、大型機械を扱えるところは弊社しかありません。そういう意味ではニッチなメーカーと言えますね。

## SDGs・健康経営の取り組みについて

環境省が策定した日本独自の環境経営システム“エコアクション21”に取り組んでいて、環境を意識した原材料を使っています。

また、健康経営としては、会社の社員食堂「ミル・ダイニング」で週に一回、社員全員でランチを食べるんです。総務を担当している妻が週替わりで色々な料理を作っていて大好評なんです。会社のホームページに、サラメシ『中工精機に昼がきたぁ！』で紹介していますから一度見て下さい。

インフルエンザの予防接種も社員全員交代で行います。感染リスクを減らし、会社が回っていくよう気を付けています。“ぎふ健康経営認定事業所”にも選んでいただきました。健康経営も会社の一つのブランドになりますよね。



## 地域の活性化に必要なこと、地域との関わりについて、お伺いします。

昨年行われた瑞浪市70周年記念事業のオープニング・エンディングに参加した際、地元の中学生・高校生が300名以上来ていました。その時つくづく思ったのは、この子達が高校なり大学なり進学したあと、また瑞浪市に戻ってきてほしいなぁ！ということでした。

瑞浪市はただ自然が豊かだけではいけない。戻ってくれるためには、若い子が目を向けてくれるような企業にならないといかん、メーカーとして会社のレベルを上げて、ボールミルや粉碎機でもちゃんとしたブランドにして、働く場所を提供できるような会社になりたいと決意を新たにしました。

## 趣味、健康法を教えてください。

今、熱中しているのは水泳ですね。週3回、900メートル泳いで500メートル歩きます。少しやりすぎかな？とも思いますが、実は脊柱管狭窄症なのでこれくらいやらないと歩けなくなるんじゃないか、という思いがあって頑張っています。

休みの日は春日井まで行って50メートルプールを泳ぎますが、私より年上の方がガンガン泳いでいるのを見ると、とても刺激になりますね。

ゴルフは中一から始めて、瑞浪高原ゴルフ場のキャディもやっていました。今は良い加減?!にやっています(笑)





## 法人会員として思うことはありますか？

法人会というのは、税を中心とした活動を行う団体ですが、その創設は単位会が初めにできた団体なんです。上部から降りてきたのではなく、下部からやり始めた団体という点が普通とは違いますね。

妻が納税貯蓄組合の役員をしている関係で税務署との繋がりもありますから、今後も協力していきたいと思います。

## 最後に一言ありますか？

今年、はれて100周年を迎える幸せをかみしめています。よくここまでやってきたなと思います。いろいろ紆余曲折があったんですが、正に感無量です。

東濃厚生病院の北側に140台の駐車場をもっていますが、昨年、弊社キャラクターであるミルレンジャーのパネルを設置して、ミルレンジャーストリートを作りました。「中工戦隊ミルレンジャー」はアニメで楽しく会社紹介をしていますから、是非YouTubeも見ていただきたいですね。



最後に工場を見学させていただきました。従業員の皆さんがとても礼儀正しく挨拶してくださり、会社の健康経営はココロの健康にも繋がっているのだと感じました。なんでも社長は大学卒業後、プロ野球入団試験を受験されたとのこと。バイタリティ溢れるお人柄で会社をけん引されてきたことがわかりました。

次期社長の息子さんに青年部会入会をお願いして、会社を後にしました。ありがとうございました。



中工精機(株)  
<https://chukoh-seiki.com/>

